

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	840時間	240時間	
	作業療法学科	夜・通信	960時間	240時間	
	鍼灸学科	夜・通信	690時間	240時間	
	柔道整復学科	夜・通信	1,230時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ (https://dmr.ac.jp/sch/sch05/) 学校案内の情報公開に掲載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ (<https://dmr.ac.jp/sch/sch05/>) 学校案内の情報公開に掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役	R1. 10. 1～ R3. 9. 30	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	名誉宮司	R3. 4. 1～ R5. 3. 31	法人の運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラムについては、学科ごとに改正の必要性を含み7月～8月頃に見直しを行う。洗い出された課題等を踏まえ、本校FD委員会の専門部会である教務委員会で、カリキュラム内容や授業方法等について検討を行い精査してその改善を図っている。</p> <p>シラバスについては、翌年の科目担当者を決定する12月頃に、各科目担当教員等に対して、学校としての統制事項を含め要修正・整備内容等を通知して作成させ、2月頃にその修正状況を点検して完成させている。</p> <p>学生に対する周知徹底要領については、在校生に対しては3月中旬頃に、新入生については4月初旬の入学時オリエンテーション時に、カリキュラム、年度授業予定、シラバス等を配布している。</p> <p>カリキュラムとシラバスは3月中旬頃にHPで公表するとともに、カリキュラムの概要は募集要項に掲載、シラバスは校内学生共有4台のPCでも学生が常に見れるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	学校ホームページ (https://dmr.ac.jp/sch/sch05/) 学校案内の情報公開に掲載
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則で100点～80点を「A」、79点～70点を「B」、69点～60点を「C」、59点以下を「D」(不合格)と定めている。成績評価は、期末試験でその達成度を評価するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に判定している。また期末試験受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。やむを得ない理由により本試験を受験できなかった者には、追試験及び再試験の機会を与えるも、結果的に合格ラインに到達しない者は進級、卒業を認めていない。</p> <p>入学予定者には、入学前の基礎的予習問題を付与して、スムーズに修学に取り組めるよう動機付けを図っている。修学期間はクラス担任制により、勉強の仕方を含め個人的悩みの相談等にも積極的にあたり、より良い修学環境の維持に努めている。さらに長期欠席者を出さないために、1回でも無断欠席があった場合には、直接本人との話し合いの場を設け、状況により保護者を含めた面談を実施して問題解決に当たっている。</p> <p>成績不振者には、時間外補習を計画的に実施したり、学期末等節目の時期には、個人面談、三者面談等により成績・単位取得状況を説明し、双方納得のいく形で学習意欲、成績向上に向け取り組んでいる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則で100点～80点を「A」、79点～70点を「B」、69点～60点を「C」、59点以下を「D」(不合格)と定めている。本成績評価基準に基づき、各期末試験後に全員に対して試験結果を通知するとともに、不合格者に対しては、個別に細部にわたる説明と再試験の有無や時期等を説明している。また各学科、学年ごとに、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することで、相対評価での下位4分の1を算出して成績分布状況を把握している。このことにより、授業方法の改善や素養・学力の低い学生へのフォローのあり方を検討して、状況により時間外補習を実施することにより全体としての学力の底上げに努力している。</p> <p>成績の客観的な指標の算出方法は、HPで公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校ホームページ (https://dmr.ac.jp/sch/sch05/) 学校案内の情報公開に掲載
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育指針の中で、卒業認定・称号付与の方針を定めHPで公表するとともに、学生便覧にも掲載している。卒業認定方針では、卒業の要件として教育課程全科目の単位の取得と満たすべき資質・識能等を明示している。</p> <p>その内容の徹底要領は、入学時のオリエンテーション時に保護者にも参加していただき、卒業認定として本校教育課程で示す必修科目全ての単位を取得する必要性と、知識や技能はもとより医療人としての人格形成を目指していることをお伝えしている。また柔道整復学科においては、最終年次に実施される認定実技試験に合格しなければ卒業できないことも説明している。</p> <p>最終年次の学生には、国家試験合格という目標達成のために激励、学習意欲の向上を狙いとしての声掛けを実施して、自ら能動的に自学研鑽に励み、強い意志をもって目標を達成する気概の醸成に努めている。合わせて業者作成の国家試験対策模擬試験を計画的に実施して、授業を補完することにより実力、自信をつけさせている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校ホームページ (https://dmr.ac.jp/sch/sch05/) 学校案内の情報公開に掲載

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校のホームページの学校案内の情報公開 (https://dmr.ac.jp/sch/sch05/) に掲載
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,130 単位時間／135 単位	1,320 単 位時間 /84 単位	450 単位 時間/ 17 単位	1,360 単 位時間 34/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,130 単位時間／135 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		76人	0人	7人	3人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ポリシー、学生アンケート結果等に基づき、カリキュラム内容や授業方法等の見直し・検討を行い、その後授業毎に各担当教員がシラバスを作成する。 ・3月中旬頃在校生へ、新入生にはオリエンテーション時に配布し、同時期にホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下を「D」（不合格）と定めている。期末試験によりその達成度を評価判定するとともに、学習意欲や修学状況を加味して総合的に判定している。 ・期末試験受験資格は、各科目の総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定は、教育課程で示す必修科目全ての単位を取得する必要性と、満たすべき資質・識能等を明示するとともに、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。 ・進級認定は、各学年に定められた全ての科目の単位を取得することと定めている。 ・卒業判定や進級判定は、それぞれの判定会議において厳正に実施している。

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各期末試験後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習方法等のアドバイスをしている。また素養・学力の低い者には計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	14人 (53.8%)	12人 (46.2%)
(主な就職、業界等) 病院（リハビリ、整形外科）、診療所（リハビリ、整形外科）、介護保健施設			
(就職指導内容) ・就職説明会の実施 ・就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 56%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	1人	1.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・無断欠席等徴候の早期把握と面談実施（悩み等の解消） ・適時の三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,405 単位時間／159 単位	1,710 単 位時間 /109 単位	630 単位 時間/ 26 単位	1,065 単 位時間 /24 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,405 単位時間／159 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	55 人	0 人	6 人	6 人	12 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ポリシー、学生アンケート結果等に基づき、カリキュラム内容や授業方法等の見直し・検討を行い、その後授業毎に各担当教員がシラバスを作成する。 ・3月中旬頃在校生へ、新入生にはオリエンテーション時に配布し、同時期にホームページにて公開を行う。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下を「D」（不合格）と定めている。期末試験によりその達成度を評価判定するとともに、学習意欲や修学状況を加味して総合的に判定している。 ・期末試験受験資格は、各科目の総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定は、教育課程全科目の単位を修得するとともに、満たすべき資質・識能等を明示するとともに、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。 ・進級認定は、各学年に定められた全ての科目の単位を修得することと定めている。 ・卒業判定や進級判定は、それぞれの判定会議において厳正に実施している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習方法等のアドバイスをしている。また素養・学力の低い者には計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (71.4%)	4 人 (28.6%)
（主な就職、業界等） 病院（リハビリ）、診療所（整形外科）			
（就職指導内容） ・就職説明会の実施 ・就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家試験合格率 90.9%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	4 人	8.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (3) 家庭の事情 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・無断欠席等徴候の早期把握と面談実施 (悩み等の解消) ・適時の三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,670 単位時間/98 単位	1,980 単 位時間 /77 単位	単位時間 /単位	690 単位 時間/21 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,670 単位時間/98 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	64人	0人	6人	4人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ポリシー、学生アンケート結果等に基づき、カリキュラム内容や授業方法等の見直し・検討を行い、その後授業毎に各担当教員がシラバスを作成する。 ・3月中旬頃在校生へ、新入生にはオリエンテーション時に配布し、同時期にホームページにて公開を行う。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下を「D」（不合格）と定めている。期末試験によりその達成度を評価判定するとともに、学習意欲や修学状況を加味して総合的に判定している。 ・期末試験受験資格は、各科目の総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定は、教育課程全科目の単位を修得するとともに、満たすべき資質・識能等を明示するとともに、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。 ・進級認定は、各学年に定められた全ての科目の単位を修得することと定めている。 ・卒業判定や進級判定は、それぞれの判定会議において厳正に実施している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習方法等のアドバイスをしている。また素養・学力の低い者には計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	1人 (7.7%)	12人 (92.3%)
(主な就職、業界等) 整骨院			
(就職指導内容) ・就職説明会の実施 ・就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 75%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	5 人	8.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (3) 一身上の都合 (1) 家庭の事情 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・無断欠席等徴候の早期把握と面談実施 (悩み等の解消) ・適時の三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,760 単位時間/109 単位	1,980 単 位時間 /85 単位	単位時間 /単位	780 単位 時間/24 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,760 単位時間/109 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	40人	0人	6人	10人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ポリシー、学生アンケート結果等に基づき、カリキュラム内容や授業方法等の見直し・検討を行い、その後授業毎に各担当教員がシラバスを作成する。 ・3月中旬頃在校生へ、新入生にはオリエンテーション時に配布し、同時期にホームページにて公開を行う。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下を「D」（不合格）と定めている。期末試験によりその達成度を評価判定するとともに、学習意欲や修学状況を加味して総合的に判定している。 ・期末試験受験資格は、各科目の総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定は、教育課程全科目の単位を修得するとともに、満たすべき資質・識能等を明示するとともに、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。 ・進級認定は、各学年に定められた全ての科目の単位を修得することと定めている。 ・卒業判定や進級判定は、それぞれの判定会議において厳正に実施している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習方法等のアドバイスをしている。また素養・学力の低い者には計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	3人 (21.4%)	8人 (57.1%)	3人 (21.4%)
（主な就職、業界等） 整骨院、鍼灸整骨院、家業（農園）			
（就職指導内容） ・就職説明会の実施 ・就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
（主な学修成果（資格・検定等） 国家試験合格率 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	5 人	15.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (4) 病気療養のため (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・無断欠席等徴候の早期把握と面談実施 (悩み等の解消) ・適時の三者面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法 学科	200,000 円	800,000 円	500,000 円	
作業療法 学科	200,000 円	800,000 円	500,000 円	
鍼灸学科	200,000 円	800,000 円	400,000 円	
柔道整復 学科	200,000 円	800,000 円	400,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://dmr.ac.jp/sch/sch05/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>1 方針</p> <p>学校自ら行う「自己評価」の結果を踏まえ、学校教職員代表者及び選出された学校関係者評価委員との連携・協力を得て、年1回以上の関係者委員会を開催し、当該学校の評価並びに理解促進を図り、学校運営の改善に資する。</p> <p>2 主な評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目標 ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の募集と受け入れ ・財務 ・法令等の遵守・内部室保障 ・社会貢献・地域貢献 <p>3 評価委員会の構成 (合計6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業関係者×2名 地域関係者×1名 高校関係者×1名 学生保護者×1名 学校卒業者×1名 <p>4 評価結果の活用方法</p> <p>学校関係者評価での指摘事項については、早期に改善可能な事項は速やかに改善を行うとともに、予算的な制約を受ける事項、カリキュラムや事業計画等の修正が必要な事項は次年度を目処に努めて早期に改善する。また、これらの学校関係者評価の結</p>

<p>果を情報公開することにより、教職員が一丸となって、教育の質の向上、合規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んでいくことの大切さを理解させている。この際、指摘事項等の改善実行責任者は、各学科については学科長、学校事務については事務長、校務運営全般については校長とする。</p>		
<p>学校関係者評価の委員</p>		
<p>所属</p>	<p>任期</p>	<p>種別</p>
<p>御所ヶ谷ホームクリニック 院長 福岡市中央区医師会 元会長</p>	<p>2019. 11. 1～ 2021. 10. 30</p>	<p>企業</p>
<p>有限会社いきいきリハビリケア 代表取締役</p>	<p>〃</p>	<p>企業</p>
<p>福岡市中央区自治会 会長</p>	<p>〃</p>	<p>地域住民</p>
<p>福岡第一高等学校 教諭</p>	<p>〃</p>	<p>高校</p>
<p>第14・17期 作業療法学科学生保護者</p>	<p>〃</p>	<p>保護者</p>
<p>第4期作業療法学科卒業生</p>	<p>〃</p>	<p>卒業生</p>
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p>		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://dmr.ac.jp/sch/sch05/</p>		
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>		
<p>2016年11月に、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の教育評価認定審査を受け、審査結果「認定」を受けた。 2021年度は、審査対象校として改めて評価認定審査を受ける予定である。</p>		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://dmr.ac.jp/sch/sch05/</p>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

<p>学校名</p>	<p>福岡天神医療リハビリ専門学校</p>
<p>設置者名</p>	<p>学校法人 都築学園</p>

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		25 人	23 人	28 人
内 訳	第Ⅰ区分	15 人	14 人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				－人
合計（年間）				29 人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

- (2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期

修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)				
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学 等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。